

緩和ケアの定義

（東京都がん対策推進計画より一部抜粋）

緩和ケアは、がん患者が抱える身体的な苦痛や精神的な苦痛の軽減を図るものであり、治療の初期段階から緩和ケアを受けられることが望ましいとされています。

世界保健機関（WHO）では、緩和ケアを以下のように定義しています。

世界保健機関（WHO）緩和ケアの定義（2002 年）

緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな（霊的な・魂の）問題に関してきちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、クオリティ・オブ・ライフ（生活の質、生命の質）を改善するためのアプローチである。

以前は、緩和ケアは「終末期に必要なケア（ターミナルケア）」と理解されていました。

しかし、上記の定義のとおり、最近では、がん治療の初期段階から疼痛をはじめとした身体症状のコントロール及び精神心理的な問題に対するケアを含めた全人的な緩和ケアを同時に行い、患者のクオリティ・オブ・ライフ（QOL、生活の質）を総合的に高めることを目的としています。

